

# 静かな海も時に脅威となります

水難事故に

あわない・あわせないために消防署から 5 つのお願い

## 1 子供から絶対に目を離さない

特に海水浴シーズンは多くの迷子が発生します。  
水辺での迷子は重大な水難事故に繋がりがねません。

## 2 遊泳禁止区域には入らない

遊泳禁止区域での死亡事故は後を絶ちません。泳げる・泳げないに関係なく、  
危険なところに近づかないことが重要です。

## 3 少しでも危険を感じたら海に入らない

波の高い日や風の強い日は特に危険です。「せっかく来たから…」  
「みんな入るし…」などという考えが命取りになることもあります。

## 4 飲酒したら海に入らない

飲酒をすると正常な判断ができなくなるのはもちろん、運動機能も著しく低下し、  
非常に危険です。飲んだら入らない・入らせないことが大切です。

## 5 救命胴衣（浮力体）を着用する

海のレジャーや釣りを楽しむ時は救命胴衣を着用しましょう。万一落水しても、  
浮いていることさえできれば助かる可能性は格段に上がります。



もしも、水難事故に遭ってしまったら…

# 「浮いて待て」

「ういてまて」は、一般社団法人水難学会が提唱する水難事故への  
対処法のひとつで、落水してしまったり、流されてしまった場合など  
に、水面に仰向けになって浮いた状態で救助を待つというものです。  
過去には、遊泳中に行方不明となった男性が、約 21 時間後に 40km  
離れた場所で救助された事例もあります。

### 石狩市の水難救助出動件数

H29 年 10 件	R2 年 16 件
H30 年 10 件	R3 年 5 件
H31 年 7 件	(R3 年 10 月 1 日現在)

# 7月

## 西日本豪雨（2018年7月6日）

2018年（平成30年）6月28日から7月8日頃にかけて、前線と台風7号の影響を受け、特に、7月6日から8日にかけては、九州・四国・中国・近畿・東海地方の11府県に大雨特別警報が発表され、各地で同時多発的に河川氾濫による浸水や土砂崩れなどが発生した。西日本を中心に広範囲で長期間にわたる記録的な大雨となった。死者・行方不明者は245人にのぼり、平成以降の風水害としては最悪の人的被害となった。（ヤフー災害カレンダーから抜粋）

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5 九州北部豪雨（2017年）	6 西日本豪雨（2018年）	7	8	9
10	11	12 北海道南西沖地震（1993年）	13	14	15	16 新潟県中越沖地震（2007年）
17	18 海の日	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

石狩消防雑学・・・令和2年中、全国で一番火災の発生が少ない月が「7月」でした。ですが令和3年の石狩市内「7月」の火災発生件数は「8件」と、年間で2番目に火災の多い月となってしまいました。7月はバーベキューをするには最高の時期ですが、バーベキューの炭の不始末による火災も発生しています。後始末はしっかり実施しましょうね。